

ジュニア科学クラブ 9

★★

月を見よう

月はわたしたちに一番身近な天体で、昔から人々は月をながめてきました。月は毎日形が変わります。三日月、半月、満月と形が変わっていくことを、月の満ち欠けとよんでいます。月が満ち欠けするのは、月が太陽の光を反射(はんしゃ)してかがやいており、わたしたちの地球の周りを回っているからです。



今月はだいたい、20日ごろになると、夕方の空に細い月が見えるようになります。その後、毎日少しずつ太っていき、24日には半月になります。さらに1週間ほどすると、丸い月が見えるようになります。今年10月1日は中秋の名月、お月見の日です。

秋の空気はすんでいて、月もきれいに見えます。実際の空で、月を観察してみましょう。

えごし わたる(科学館学芸員)

■お知らせ■

ジュニア科学クラブ^{おうぼ}にご応募いただきましたみなさまへ

10月より、オンラインで、動画の配信を予定しています。

詳しくは、後日^{ゆうそう}お知らせを^{らん}郵送しますので、ご覧ください。

*このページでしかいないしている内容は、おうちでもできるものです。ぜひ、ちょう戦してみて下さい。

※最新の情報は、科学館公式ホームページ(<https://www.sci-museum.jp/>)をご覧ください。

ここから2ページはジュニア科学クラブ(小学校5・6年生を対象とした会員制)のページです。